



# 株式会社UKCホールディングス 2011年(平成23年)3月期決算 補足説明資料

---

2011年5月13日



株式会社 UKCホールディングス

---



# 2011年3月期 ハイライト



(単位：百万円)	2010年3月期 ①		2010年3月期<参考> ② (UKC通期+KTS上期)		2011年3月期 ③		前年同期比(参考) ③/②		前年同期比 ③/①	
	金額	構成	金額	構成	金額	構成	増減金額	増減率	増減金額	増減率
売上高	215,162	100.0%	253,996	100.0%	303,585	100.0%	+49,588	+19.5%	+88,422	+41.1%
売上総利益	11,556	5.4%	14,998	5.9%	16,314	5.4%	+1,316	+8.8%	+4,758	+41.2%
SGA	8,821	4.1%	11,974	4.7%	11,883	3.9%	▲91	▲0.8%	+3,062	+34.7%
営業利益	2,734	1.3%	3,023	1.2%	4,431	1.5%	+1,408	+46.6%	+1,696	+62.0%
経常利益	2,259	1.0%	2,294	0.9%	3,861	1.3%	+1,566	+68.3%	+1,601	+70.9%
当期純利益	6,094	2.8%	6,058	2.4%	2,314	0.8%	▲3,744	▲61.8%	▲3,780	▲62.0%

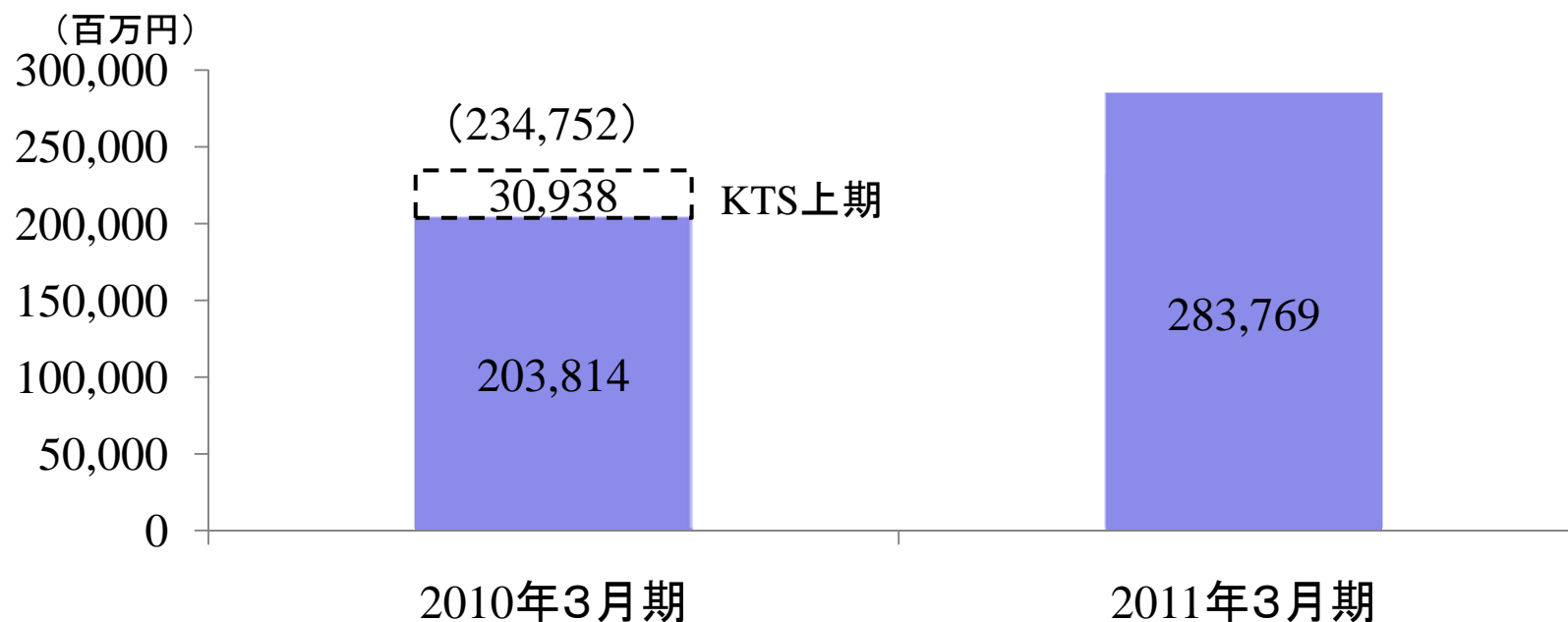
① 会計上の取得会社であるユーエスシー(USC)の連結会計期間を基礎に、共信テクノソニック(KTS)の当連結会計期間(09年10月1日～10年3月31日)の連結経営成績を連結

② ①のUKCホールディングス連結業績にKTSの中間期の連結業績を単純合算して算出

- デジタルスチルカメラ、スマートフォン、薄型テレビ等のデジタル家電向けの販売が好調に推移し、売上高は前期比で大きく伸長
- 売上高の大幅増により売上総利益、営業利益、経常利益ともに増加
- 当期純利益は、特別利益に負ののれん発生益がなくなり正常化（前期の特別利益には、KTS株式取得原価と時価純資産の差額である負ののれん 51.8億円の発生益（一括償却）を計上）



# 2011年3月期 半導体及び電子部品事業



セグメント利益(百万円)

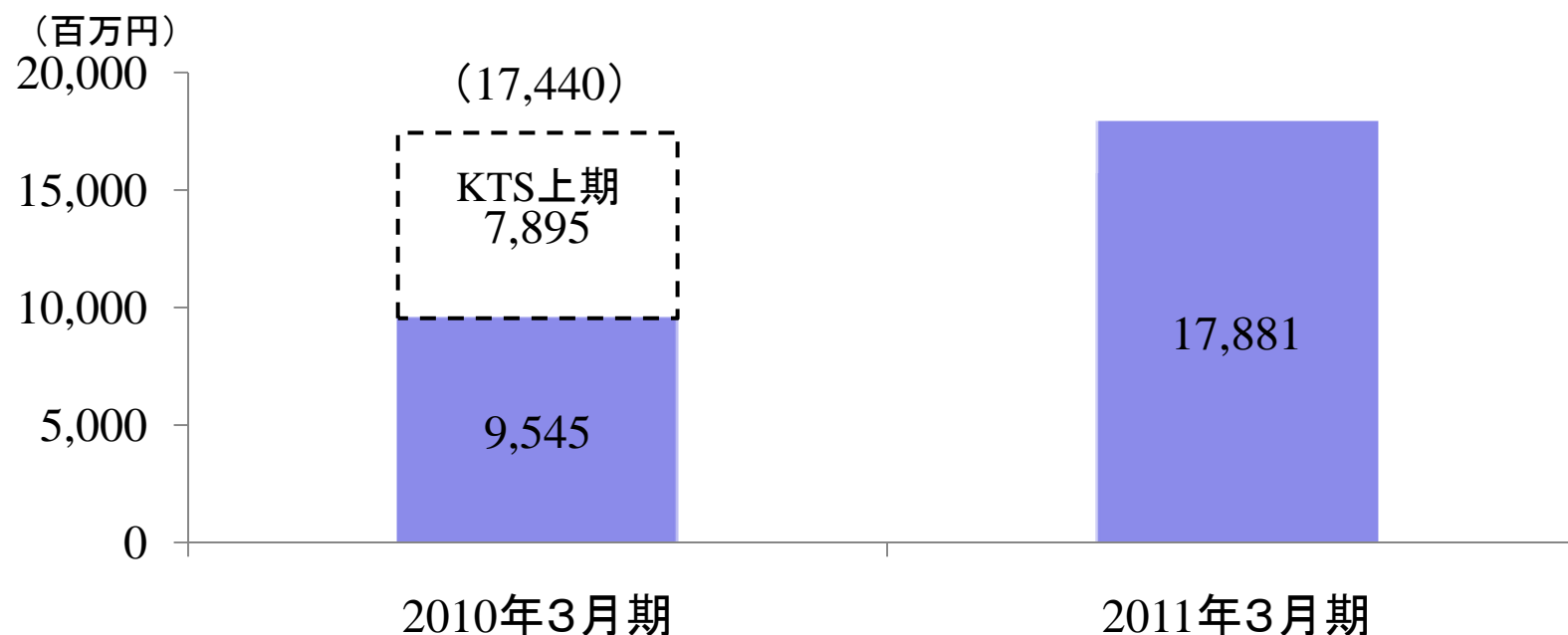
—

5,807

- 高級デジタルスチルカメラやスマートフォン向けにソニー製イメージセンサー等の販売が好調に推移
- サムスン電子をはじめとする海外メーカー製品についても、薄型テレビ等の旺盛な需要に支えられ、概ね順調に売上が拡大



# 2011年3月期 電子機器事業



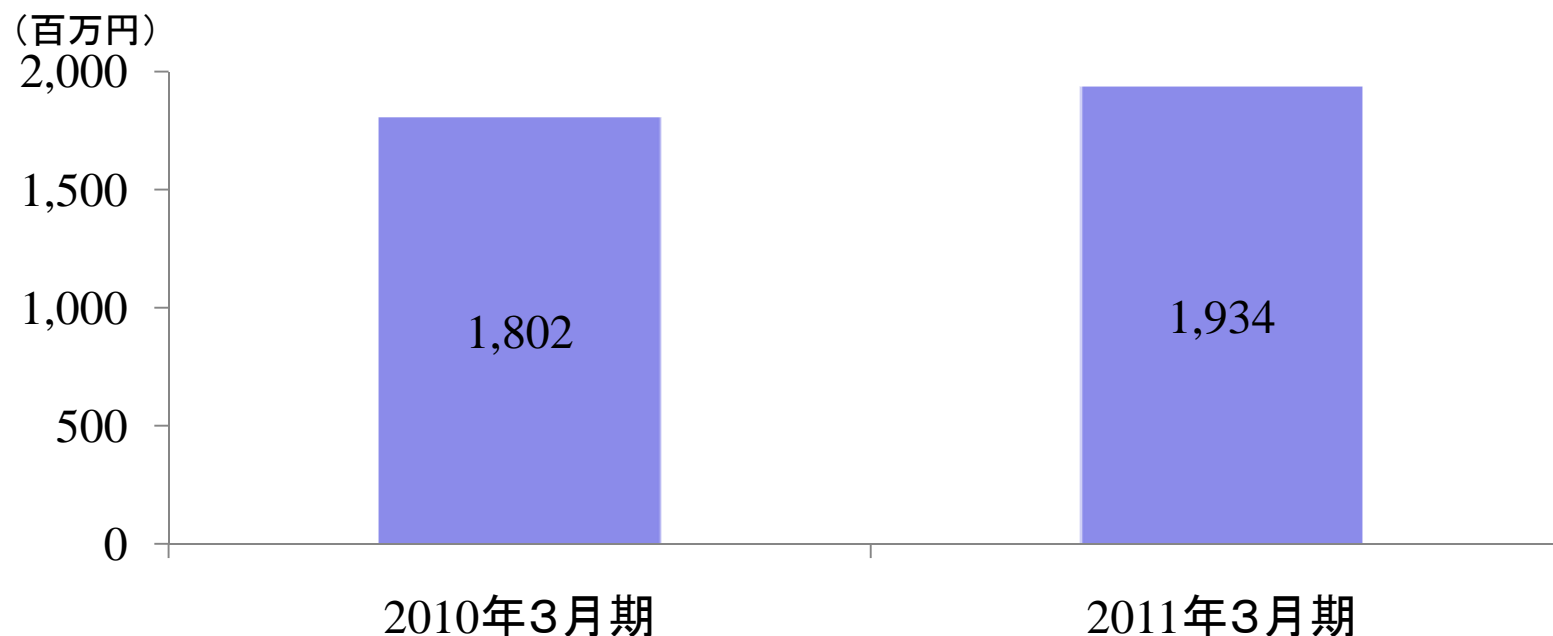
10/3 KTS上期には、10/3下期より連結対象から除外した平成堂の売上高223百万円を含む

セグメント利益(百万円)	2010年3月期	2011年3月期
	—	337

- 顧客の設備投資が回復傾向にあり、韓国におけるマシンビジョン向けや国内半導体装置メーカー向けのイメージセンシングビジネスを中心に売上が拡大
- 放送機器の需要も一部回復



# 2011年3月期 システム機器事業



セグメント利益(百万円)

—

▲33

## ➤ 非接触 I Cカード関連ビジネス

電子マネー、セキュリティー、デジタルサイネージ市場の一部に回復基調も、パソコン市場では低価格帯へのシフトに伴い、FeliCaモジュール搭載は減少

## ➤ 半導体及び電子部品の信頼性試験・環境物質分析サービス

試験数、新規案件が増加し、売上は回復傾向で推移

# 2011年3月期 財政状態（バランスシート）

(単位：百万円)		11/3月末	10/3月末
現預金		14,753	11,668
売上債権		69,763	63,016
棚卸資産		19,865	13,262
その他		4,280	2,751
<b>流動資産計</b>		<b>108,661</b>	<b>90,698</b>
<b>固定資産計</b>		<b>5,250</b>	<b>4,907</b>
<b>総資産</b>		<b>113,912</b>	<b>95,606</b>

仕入債務		46,484	42,499
短期借入金 ※		19,251	12,777
その他		3,360	2,735
<b>流動負債計</b>		<b>69,097</b>	<b>58,011</b>
長期借入金		4,515	888
その他		1,604	1,047
<b>固定負債計</b>		<b>6,120</b>	<b>1,936</b>
<b>純資産</b>		<b>38,694</b>	<b>35,658</b>

<b>自己資本比率</b>	<b>33.0%</b>	<b>36.1%</b>
---------------	--------------	--------------

※ 1年内返済予定の長期借入金を含む

## ➤ 総資産

主に取引高増に伴う売上債権増(6,747百万円)及び棚卸資産増(662百万円)並びに現預金の増加(3,084百万円)により、前期末と比較して17,962百万円増加

## ➤ 負債

主に取引高増に伴う仕入債務増(3,985百万円)並びに運転資金増に伴う短期・長期借入金増(10,101百万円)により、前期末と比較して15,269百万円増加

## ➤ 純資産

当期純利益2,314百万円の計上、新株の発行・自己株式の処分による増加1,601百万円に対し、資本剰余金からの配当479百万円、評価・換算差額等の変動により、前期末と比較して3,036百万円増加

# 2011年3月期 財政状態(キャッシュ・フロー)



## ■ 営業活動によるキャッシュ・フロー ▲7,662百万円

主に、税金等調整前当期純利益(4,138百万円)、仕入債務の増加(4,397百万円)による資金の増加に対し、売上高拡大に伴う売上債権の増加(7,748百万円)、たな卸資産の増加(6,779百万円)、及び法人税等の支払額(1,068百万円)により資金が減少したことによる

## ■ 投資活動によるキャッシュ・フロー 746百万円

主に、定期預金の払戻しによる収入(1,774百万円)、投資有価証券の売却による収入(526百万円)による資金の増加に対し、定期預金の預入による支出(1,401百万円)、有形固定資産の取得による支出(311百万円)により資金が減少したことによる

## ■ 財務活動によるキャッシュ・フロー 10,968百万円

主に、運転資金のための短期借入金の増加(8,742百万円)、長期借入金の増加(1,247百万円)、新株の発行による収入(989百万円)、及び自己株式の処分による収入(611百万円)による資金の増加に対し、配当金の支払額(479百万円)による支出により資金が減少したことによる

## ■ 現金及び現金同等物 13,653百万円



# 2012年3月期 通期業績予想



(単位：百万円)	2012年3月期上期			2012年3月期下期			2012年3月期通期		
	金額	構成	前年比	金額	構成	前年比	金額	構成	前年比
売上高	126,000	100.0%	▲15.0%	144,000	100.0%	▲7.3%	270,000	100.0%	▲11.1%
営業利益	1,200	1.0%	▲49.7%	2,400	1.7%	+17.2%	3,600	1.3%	▲18.8%
経常利益	1,000	0.8%	▲51.4%	2,300	1.6%	+27.5%	3,300	1.2%	▲14.5%
当期純利益	600	0.5%	▲47.1%	1,400	1.0%	+18.7%	2,000	0.7%	▲13.6%

- 上期は現時点での東日本大震災の影響(仕入先、顧客の生産減)見込を織込
- 下期は震災の影響の沈静化に伴い、業績改善を見込む
- ユニーデバイスの事業譲渡(7月1日予定)に伴う減収は500億円程度も、今期から連結対象となるCU TECH Corp.とその子会社工場である中国東莞CU TECHの貢献によるEMS事業の拡大、液晶・環境関連事業等の伸長により、11%の減収に留まるとともに、売上総利益率は改善
- 期末配当金予想：1株あたり35円







株式会社 UKCホールディングス

〈お問い合わせ先〉

経営企画部 大澤

Mail to : [ir@ukcgroup.com](mailto:ir@ukcgroup.com)

本プレゼンテーション資料中のデータや将来予測は、資料作成時点における当社の判断や入手可能なデータに基づくもので、今後様々な要因によって変化することがあり、その情報の正確性及び完全性を保証するものではありません。